き事王代古選記に賛して書きしとゝ和氏新
山家にて自害の時辭世
おもかの えぐき剣 見えなる 家の世の人の多くれ
義氏は 敵に 任せ 内にて 果ぬ のめく 思ひ 切 接 寄
と其子を 寄 思 隠 給 滅 せ られ 二代 武 尊
頼 義 奥 日 に 寄 逆 を 近 都 追 せ 本 は 海 部
通 を 渡 村 に 相 と て 上 方 雲 の 中 に て 義 家 は 高 の
ゝ 隠 に 諸 事 風 行 に 故 に 罪 の 人 を 殺 害 す 事 多
一 六 段 中 殺 生 を 義 奥 殺 害 せ し 是 相 が 過 言 故
は 女 僧 御 に 生 首 を 備 て 食 せ と 云 て 甲 州 武 田 信 玄
の 父 信 虎 大 悪 人 にて 人 を 殺 害 す 事 常 に 生
頸 を 供 て 食 事 せ と 記 録 に 云 ゝ 載 られ た 相
し 是 を 思 ひ 出 し 城 を 傾 城 傾 国 の 基 と 作 武 田
信 玄 は 姓 は 源 新 羅 三 郎 二 十 七 代 の 孫 に 世 に 弓 射 の
礼 式 を 作 る 甲 冑 を 初 て 初 冠 して 大 樹 義 信 に
諱 の 字 を 賜 て 晴 信 と 名 乗 り 印 して 頼 敏 長
して 老 臣 の 智 行 に 父 信 虎 信 玄 海 老 口 の 城 を 攻 し た
聖 く 守 て 抜 く 事 能 はず 信 玄 父 を 代 て 絶 る 兵 三